

福岡県の気候変動による影響等調査業務に係る仕様書

1 委託業務名

福岡県の気候変動による影響等調査業務委託

2 業務目的

本業務は、福岡県における気候変動影響及び当該影響による被害を防止・軽減するための適応策のあり方（事例を含む）について、分野別・項目別・地域別・主体別にできるだけきめ細かく調査・分析・整理することにより、福岡県及び県内の各主体（市町村、事業所、県民）による適応策の推進に資することを目的とする。

3 契約期間

契約締結日から令和 2 年 3 月 31 日まで

※ただし、2 月末までに報告書案を提出すること。

4 業務内容

(1) 計画立案

本業務を実施するための組織体制及び調査・分析・整理の実施方針・手順・工程等を取りまとめた業務計画書を作成する。

(2) 福岡県における気候変動影響の整理

福岡県におけるこれまでの気候変動影響及び将来の気候変動影響予測について、分野別・項目別・地域別（県全域及び各地域）に取りまとめる。

※ 分野・項目については、平成 27 年 3 月に中央環境審議会が取りまとめた「日本における気候変動による影響の評価に関する報告と今後の課題について」（以下「気候変動影響評価報告書」という。）における分類（表 1）を参考にすること。

※ 地域については、以下のような区分が想定される。福岡県における気候変動影響について、できるだけきめ細かく把握できるように、分類・項目ごとに適切な地域区分を考案し、設定すること。

<地域区分例>

○県内 4 地域（①北九州、②福岡、③筑後、④筑豊）

○政令市・中核市・保健福祉環境事務所所管地域（①北九州市、②福岡市、③久留米市、④～⑨各保健福祉環境事務所）

○広域地域振興圏（①北九州市、②遠賀・中間、③京築、④福岡市、⑤筑紫、⑥糟屋中南部、⑦宗像・糟屋北部、⑧糸島、⑨朝倉、⑩八女・筑後、⑪久留米、⑫有明、⑬直方・鞍手、⑭飯塚・嘉穂、⑮田川）

○農業地域区分（都市的地域・平地農業地域・中間農業地域・山間農業地域）

○地理的特性区分（沿岸部・内陸部・河川流域・高標高地など）

○市町村（60 市町村）

※ 企画提案に当たっては、分野・項目・地域別の気候変動影響の分析等を、どのようなデータ、文献、研究結果、分析ツール等に基づき実施するのかを明記すること。

※ データ等の入手について、福岡県の協力が必要な場合は、その旨を明記すること。

（参考までに、表 2 に示した観測地点ごとの気象データについては、福岡県が福岡管

区気象台から入手することが可能である)

※ 福岡県における影響がない又は影響を把握できない分野・項目がある場合は、その旨を明記すること。

(3) 福岡県における適応策のあり方の整理

(2) で取りまとめた福岡県における気候変動影響による被害を防止・軽減するための適応策のあり方(事例を含む)について、分野別・項目別・地域別・主体別に取りまとめる。

※ 主体別については、以下の区分を想定しているが、適切な区分を考案し、設定すること。

＜主体別区分＞

①県、②市町村、③事業者、④県民、⑤大学・研究機関等、⑥国

※ (2) で取りまとめた分野別・項目別に、県内外でどのような適応策が実施されているか又は実施が予定されているかを整理すること。

※ その上で、特に、福岡県において既に影響を受けているか、影響が予想されているにも関わらず、適応策が実施されていない分野・項目について、適応策のあり方の方向性を示すこと。

※ 企画提案に当たっては、県内外における適応策の実施状況をどのような方法で把握するのか(既存資料の整理、アンケート調査の実施等)を明記すること。

※ 適応策の実施状況の把握に当たって、福岡県の協力が必要な場合は、その旨を明記すること。

(4) 報告書の作成

(2) 及び(3)の成果を報告書として取りまとめ、紙及び電子媒体で提出する。

※ 報告書は、別添「福岡県の気候変動による影響調査 取りまとめ様式例」で示した様式を参考に作成すること。

※ コード番号を付すなど、地域別、主体別の検索が可能となるような工夫を行うこと。

※ 次年度以降も継続的な情報更新が可能となるように情報源情報(情報の入手先、参照アドレス、分析ツールの利用方法など)を別途整理すること。

(5) 打ち合わせ・協議

関係者による打ち合わせ・協議を4回以上実施する。

※ 打ち合わせ場所は、福岡県庁又は福岡県保健環境研究所とする。

表 1 「気候変動影響評価報告書」による分野・項目の分類体系

分野	大項目	小項目
農業・林業・水産業	農業	水稲
		野菜
		果樹
		麦、大豆、飼料作物等
		畜産
		病虫害、雑草
		農業生産基盤
	林業	木材生産（人工林等）
		特用林産物（きのこ類等）
水産業	回遊性魚介類（魚類等の生体）	
	増養殖等	
水環境・水資源	水環境	湖沼・ダム湖
		河川
		沿岸域及び閉鎖性海域
	水資源	水供給（地表水）
		水供給（地下水）
		水需要
自然生態系	陸域生態系	高山帯・亜高山帯
		自然林・二次林
		里地・里山生態系
		人工林
		野生鳥獣による影響
		物質収支
	淡水生態系	湖沼
		河川
		湿原
	沿岸生態系	亜熱帯
		温帯・亜寒帯
	海洋生態系	
	生物季節	
	分布・個体群の変動	
自然災害・沿岸域	河川	洪水
	沿岸	内水
		海面上昇
	山地	高潮・高波
		海岸浸食
		土石流・地すべり等
	その他	強風等
健康	冬季の温暖化	冬期死亡率
	暑熱	死亡リスク
		熱中症
	感染症	水系・食品媒介性感染症
		節足動物媒介感染症
		その他の感染症
	その他	
産業・経済活動	製造業	
	エネルギー	エネルギー需給

	商業	
	金融・保険	
	観光業	レジャー
	建設業	
	医療	
	その他	その他（海外影響等）
国民生活・都市生活	都市インフラ、ライフライン等	水道、交通等
	文化・歴史などを感じる暮らし	生物季節、伝統行事・地場産業等
	その他	暑熱による生活への影響等

表2 県が福岡管区気象台から入手可能な観測地点ごとの気象データ

(1) 観測地点と気象データ

観測地点	項目													
	気温		降水量		風向風速		日照時間		積雪深		湿度		気圧	
	観測	将来予測	観測	将来予測	観測	将来予測	観測	将来予測	観測	将来予測	観測	将来予測	観測	将来予測
福岡	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
飯塚	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×
宗像	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
八幡	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
行橋	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
前原	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
太宰府	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
添田	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
朝倉	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
久留米	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
黒木	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
大牟田	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
博多	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
空港北町	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
小呂島	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
東谷	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
早良脇山	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
英彦山	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
耳納山	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
柳川	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(2) 福岡管区気象台において将来予測が可能な項目

観測地点ごと	平均気温、最高気温、最低気温、猛暑日、真夏日、夏日、熱帯夜、冬日、真冬日
県域ごと	降水量、日降水量 100mm 以上、日降水量 200mm 以上、1 時間降水量 30mm 以上、1 時間降水量 50mm 以上、年最大日降水量、無降水日数
地域ごと	最深積雪、降雪量

福岡県における気候変動影響及び適応策に関する調査 とりまとめ様式例

全県

(注1) 地域コードは、全県並びに保健福祉環境事務所が所管する6地域及び北九州市、福岡市、久留米市の9地区で設定（複数設定あり）
 主体別コードは、県、市町村、事業者、県民、大学・研究機関等、国の6区分で設定（複数設定あり）
 (注2) 各項目ともに、情報が多い場合は、タイトル又は要旨とURLを記載する。
 (注3) 記載する情報は、ソース別に色分けを行う(例:A-PLAT、県データ、市町村アンケート、その他)

気候変動影響分野	①気候変動による影響		②気候変動適応策	③関連する気候変動情報（全県）		特記事項
	分野	小項目		地域コード	主体別コード	

〇〇地域（地域コード〇〇）

気候変動影響分野	①気候変動による影響		②気候変動適応策	③関連する気候変動情報（〇〇地域アメダス情報等）		特記事項
	分野	小項目		地域コード	主体別コード	